

市政に関する一般質問

教育行政

スクールバスの運行について



東金みらい 塚瀬一夫

問 現在、スクールバスの運行については、源地区のスクールバスと、学校の通学ではないが公平幼稚園バスが運行されている。今後は、市が主体となり運用し、より充実させていくべきだと考えるが、当局の見解を伺う。

答 スクールバスの運行については、学校教育問題検討懇談会へ諮問している児童生徒の「適正な通学距離」・「適正配置」の中で、必要性等について協議されており、本年度末まで

に答申をいただく予定となっている。現在は、源地区及び公平地区による運用を行っているが、今後は、学校教育問題検討懇談会からの答申を踏まえた中で、市が運営主体となったスクールバスの運行についても検討していきたいと考えている。

医療行政

東千葉メディカルセンターの患者対応の現状について



東金みらい 渡邊直樹

問 東千葉MCの受付対応について話を聞いていると、いまだに誤解を招いている部分がある。紹介状のない患者への対応など、現状について、当局の見解を伺う。

答 東千葉MCの受付の受付、問い合わせ等については、循環器内科を除いて紹介状のない患者でも受診が可能となっていることから、患者の症状等を確認するとともに担当医師の診察の曜日・時間帯について案内をしている。併せて、初診の患者には選定療養費を負担い

ただくことを説明し、かかりつけ医等からの紹介状がある場合は選定療養費の対象外となることから、紹介状の有無を確認している。職員の接遇が東千葉MCに対する印象を大きく左右することから、現在、受付の対応を含め、職員一人ひとりがより丁寧な説明に努めるよう取り組みを進めている。設立団体としても、市民から寄せられた意見等については真摯に受け止め、法人に報告するとともに、更なる改善を求めている。

医療行政

東千葉メディカルセンターの経営責任は



東金みらい 石崎公一

問 開院3年目のフルオープンを断念し、当初計画は破綻したと思われるが、市長の認識を伺う。

答 フルオープン時期の延期等、当初計画と乖離している状況は、市民や議会に大変な心配をかけていると認識している。この状況を改善するため、設立団体として中期目標の変更を行い、昨年12月議会で独法の中期計画の変更の承認をいただいた。開院後の実態に合わせた中期目標・中期計画の見直しを行うことで収支の改善

を図り、経営を安定化させることが最優先事項となっている。併せて医療従事者の確保の状況や経営の効率性の両面から、フルオープンに向けた取り組みを進め、今の見通しでは平成31年度には単年度黒字を実現できるような取り組みが進められている。

産業振興

みのりの郷東金における今後の取り組みは



東金みらい 石田 明

問 本市においてもイノシシ等の有害獣による農作物被害は深刻となっている。みのりの郷東金に今回、新たに加工場の建設を予定しているとのことだが、将来を見据え、例えば畜産加工等の計画も考慮したかどうか。

答 指摘されるとおり本市での有害獣被害は年々増加し、将来的には更に深刻度が増すことが想定される。ここ数年の捕獲数も増加傾向にある中で、一定の捕獲数確保等の問題もある

るものの、捕獲後の処理施設は有害獣被害の抑制と新たな商品による事業者の収益向上の効果が生まれることから、将来的には取り組みの必要性があると考えられる。県内では、大多喜町の道の駅でイノシシの加工場を有しており、特産品としてイノシシ肉の販売やレストランではジビエ料理も提供されている。今回の加工場の計画では、食肉の加工施設までは考えていないが、将来を見据え拡張性のある設計となるよう考慮したい。

福祉行政

小学校、中学校の学習支援について



東金みらい 清宮利男

問 千葉県内の43福祉事業所のうち約4割に当たる17の福祉事業所が、生活保護世帯の子供を含む生活困窮世帯の子供に対して、学習支援事業を実施している。この事業の実施について本市ではどのように考えているのか。

答 子どもの学習支援事業は、生活困窮者の世帯の子どもに対する学習支援や居場所の提供により、学習意欲と基礎学力の向上を目指すもので、高校進学率の向上や将来的に安定した就労に繋ぐ

ことにより貧困の連鎖を防止することを目的としている。近隣自治体では大網白里市が平成28年度から実施しており、東金市においても実施に向け検討していきたい。実施に関しては、対象者の学習の習慣化を図るため、夏休みや冬休みに限った短期的に実施するのではなく、通年で実施することを考えており、教育部局が現在行っている学習支援事業との整合性を図り、講師の選定、対象者に対する募集方法、会場の選定等が検討課題として認識している。

教育行政

教育の振興に関する大綱と教育振興基本計画について



東金みらい 石渡徹男

問 昨年度、市長が大綱を示し、教育委員会で教育振興基本計画を策定して1年経過したが、新たな制度により教育のあり方がどのように変わったのか。またどのような成果が上がっているのか伺う。

答 教育委員会では年度ごとに学校教育指導の指針を従来から策定し、東金市としての統一した学校教育の方向性を各学校に示してきた。更には国の法改正による、新教育委員会制度のもとで市長から基本理念と基本方針か

らなる、「東金市教育の振興に関する大綱」が示された。策定した「東金市教育振興基本計画」では、課題ごとに目標を定め、学校教育の振興を図ることとした。このように、本市教育の独自の方向性を体系的に組み立て、各学校と認識の共有を進めたことが変化であり、成果であるといえる。

医療行政

東千葉メディカルセンターにおける大規模災害時の対応について



東金みらい 土肥 紀英

問 東千葉MCにおいて、大規模災害時にどのような体制を取るのか。また、どのような訓練を行っているのか伺う。

答 東千葉MCは、地域災害拠点病院として災害時の資機材等を備蓄し、病院全体の訓練やDMATの各種訓練への参加を通じ、災害医療に対応可能な体制を整えることとしており、災害発生時は、センター長を指揮官として災害対策本部を配置する体制としている。訓練の状況として、平成26年度は

災害を想定した院内患者の移動と外部からの患者の救護を兼ねた訓練、平成27年度は院内の移動を想定した訓練を、平成28年度は大地震発生時の初期対応、情報収集、トリアージまでの一連を想定した総合訓練を予定している。また、災害派遣チーム、DMATが国主催の訓練に参加し、平成26年度は熊本県及び大分県での訓練、平成27年度は千葉県での首都直下地震を想定した訓練、平成28年度は静岡県での大規模地震時医療活動訓練に参加している。

教育行政

不登校児童生徒への対応は



東金みらい 佐久間治行

問 不登校児童生徒への、市教育委員会の対応を伺う。

答 市学校教育課では毎月「長欠教育相談連絡会議」を開催し、長欠や不登校児童の把握を行うと共に解消に向けた支援や助言を行っている。長欠教育相談連絡会議以外にも、各学校からの協力依頼を受け、担当の指導主事が学校で開催する個別支援会議に参加し、解消に向けた助言や支援を行っている。市教育委員会では平成28年7月に東金市小中学校生

徒指導研修会を開催した際に、山武地区不登校児童生徒サポートセンター訪問相談担当教員を講師として招き、発達段階に応じた児童生徒への理解と教育相談の手法について、講話と演習を行った。各学校ではこうした研修を受けた教職員が指導的立場となり、学校全体で組織的な対応ができるよう努めている。

不登校の未然防止と早期対応のためには、子ども達の最も身近な学級担任の力量を向上させることが必須と

市役所1階ロビーで本会議中継をご覧いただけます。
市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。